



2021年3月期 第1四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

2020年8月13日

上場会社名 富士フイルムホールディングス株式会社
 コード番号 4901 URL <https://holdings.fujifilm.com/ja>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
 (氏名) 助野 健児
 (氏名) 吉澤 ちさと
 TEL 03-6271-1111

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	456,270	△14.8	20,390	△45.1	42,199	59.9	27,501	87.6
2020年3月期第1四半期	535,326	△5.2	37,113	0.7	26,392	△42.4	14,662	△48.2

(注)四半期包括利益 2021年3月期第1四半期 36,490百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △14,070百万円 (—%)

	基本的1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	希薄化後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	68.80	68.57
2020年3月期第1四半期	35.82	35.71

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,282,165	2,030,575	1,987,860	60.6
2020年3月期	3,321,692	1,993,757	1,953,252	58.8

(注) 資本合計(純資産)は、P.8の連結貸借対照表の純資産合計を読み替えております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	47.50	—	47.50	95.00
2021年3月期	—				
2021年3月期(予想)		47.50	—	47.50	95.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,200,000	△5.0	140,000	△25.0	170,000	△1.8	120,000	△4.0	300.20

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注)「1株当たり当社株主に帰属する当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2020年6月30日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)を使用しております。

(注)第2四半期連結累計期間の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	514,625,728 株	2020年3月期	514,625,728 株
------------	---------------	----------	---------------

② 期末自己株式数

2021年3月期1Q	114,896,391 株	2020年3月期	114,914,288 株
------------	---------------	----------	---------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	399,723,645 株	2020年3月期1Q	409,302,547 株
------------	---------------	------------	---------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.6「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

[目次]

1.	当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1)	経営成績に関する説明	P. 2
(2)	財政状態に関する説明	P. 5
(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 6
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 6
(2)	簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 6
(3)	会計方針の変更	P. 6
3.	継続企業の前提に関する重要事象等	P. 6
4.	四半期連結財務諸表	P. 7
(1)	四半期連結貸借対照表	P. 7
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 9
	（四半期連結損益計算書）	P. 9
	（四半期連結包括利益計算書）	P. 10
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(4)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
	（継続企業の前提に関する注記）	P. 12
	（セグメント情報）	P. 12
	（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	P. 14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：億円)

	2021年3月期 第1四半期		2020年3月期 第1四半期		増減額	増減率
国内売上高	44.5%	2,029	41.4%	2,214	△185	△8.4%
海外売上高	55.5%	2,534	58.6%	3,139	△605	△19.3%
売上高	100.0%	4,563	100.0%	5,353	△790	△14.8%
営業利益	4.5%	204	6.9%	371	△167	△45.1%
税金等調整前四半期純利益	9.2%	422	4.9%	264	158	59.9%
当社株主帰属四半期純利益	6.0%	275	2.7%	147	128	87.6%
為替レート (円/米\$)		108円		110円	△2円	
為替レート (円/Euro)		119円		123円	△4円	

(注) 表紙の税引前四半期純利益を税金等調整前四半期純利益に読み替えております。

当社グループの2021年3月期第1四半期累計期間における連結売上高は、バイオCDMO事業、電子材料事業などで売上を伸ばしましたが、フォトイメージング事業、ドキュメント事業などの売上減少により4,563億円(前年同期比14.8%減)となりました。

営業利益は、204億円(前年同期比45.1%減)となりました。税金等調整前四半期純利益は、持分証券評価益の計上などにより422億円(前年同期比59.9%増)、当社株主帰属四半期純利益は275億円(前年同期比87.6%増)となりました。当四半期の円為替レートは、対米ドルで108円、対ユーロで119円となりました。

【事業セグメント別の売上高】

(単位：億円)

セグメント	2021年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	増減額	増減率
イメージングソリューション	498	746	△248	△33.2%
ヘルスケア&マテリアルズソリューション	2,171	2,276	△105	△4.6%
ドキュメントソリューション	1,894	2,331	△437	△18.7%
連結合計	4,563	5,353	△790	△14.8%

【事業セグメント別の営業利益(△損失)】

(単位：億円)

セグメント	2021年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	増減額	増減率
イメージングソリューション	△30	45	△75	—
ヘルスケア&マテリアルズソリューション	180	189	△9	△4.7%
ドキュメントソリューション	129	217	△88	△40.8%
全社費用及び セグメント間取引消去	△75	△80	5	—
連結合計	204	371	△167	△45.1%

「イメージングソリューション部門」

イメージングソリューション部門の連結売上高は、498億円(前年同期比33.2%減)となりました。COVID-19の流行拡大によって、世界各国の多くの都市での外出規制や、店舗の休業、各種イベントの自粛・中止が生じたことなどの影響を受けて、製品・サービス全般にわたって販売が減少しました。

当部門の営業損失は、30億円となりました。

フォトイメージング事業では、カラーペーパーの需要減や、COVID-19の流行拡大影響により、売上は減少しました。撮影したその場で写真をプリントして楽しめるインスタントフォトシステムでは、

世界中で特に人気の高いリニューアルしたエントリーモデルで、初めてオート露光機能を搭載した「instax mini 11」を2020年3月以降世界各地で販売開始しました。2020年5月には、スマートフォン用プリンター「instax mini Link」の専用アプリに、スマートフォンで撮影した画像の中からイラストなどを抜き出し別の画像と合成して“チェキプリント”できる新機能「Sketch, edit & print」を搭載。自宅での時間を充実させる“チェキ”の新たな楽しみ方を、SNSを通じて提案し、オンライン販売を強化しています。また、2020年4月には「Year Album」に、AI技術を活用しユーザーの趣味嗜好に合った画像選択とレイアウトを自動作成、提案するパーソナライズ機能などを新たに搭載しました。今後も多様化するお客様のニーズにお応えし、便利で付加価値の高い商品・サービスを提供するとともに、「撮る、残す、飾る、そして贈る」という写真本来の価値を世界中で伝え続けていきます。

光学・電子映像事業の電子映像分野では、COVID-19の流行拡大影響による店舗休業や撮影機会の減少を受け、売上は減少しました。デジタルカメラ市場全体が大変厳しい状況にある中で、2020年2月に発売した高級コンパクトデジタルカメラ「FUJIFILM X100V」と、2020年4月に発売し高速AFや高い動画性能を評価されているミラーレスデジタルカメラ「FUJIFILM X-T4」の販売は好調に推移しています。今後も特長ある魅力的な製品を供給して市場の活性化を図ると共に、写真を撮影する素晴らしさを提供していきます。光学デバイス分野では、イベント自粛の影響が大きい放送・シネマ用レンズの販売減や世界的な自動車需要減による車載レンズの販売減などによって、売上は減少しました。同分野では、超短焦点プロジェクターや長焦点監視カメラを開発・発売するなど、事業の領域拡大を進めており、多様な市場ニーズにこたえる画期的な製品を開発し続けることで、事業成長を図っていきます。

「ヘルスケア&マテリアルズ ソリューション部門」

ヘルスケア&マテリアルズ ソリューション部門の連結売上高は、2,171億円(前年同期比4.6%減)となりました。COVID-19の流行拡大影響により、メディカルシステム事業では病院への営業活動自粛や商談遅延、ライフサイエンス事業では店頭イベントの中止や直営店の休止、グラフィックシステム事業ではイベントの自粛・中止などによる印刷需要減の影響を受けました。

当部門の営業利益は、180億円(前年同期比4.7%減)となりました。

メディカルシステム事業では、COVID-19の流行拡大影響により売上は減少しましたが、X線画像診断分野では、病室内の病床を移動しながら撮影可能な回診用デジタルX線撮影装置「FUJIFILM DR CALNEO AQRO」及び「FUJIFILM DR CALNEO Go PLUS」の需要が急増し、欧米に加え、アジア・中南米・中東アフリカでも販売が伸長しました。超音波診断分野においても、肺炎検査や処置への需要が急増し、病床への持ち運びが容易な携帯型超音波画像診断装置「SonoSite Edge II」などの販売が伸長しました。医療IT分野では、医用画像情報システム(PACS)「SYNAPSE」を中心としたシステムの販売が日本を中心に堅調に推移しました。2020年6月にAI技術を活用して肺がん診断における胸部CT画像の肺結節検出を支援する「SYNAPSE SAI viewer」向けアプリケーションを発売しました。内視鏡分野では、特殊光観察が可能な7000システムなどの販売が中国において堅調に推移しました。2020年6月に炎症の診断や微小な病変の発見をサポートする4色のLED光源を搭載した内視鏡システム「ELUXEO(エルクセオ)」を発売しました。体外診断(IVD)分野では、国内の血液検査システム「ドライケムシリーズ」の販売が堅調に推移しました。2020年5月には、全自動遺伝子解析装置「ミュータスワコーg1」用に、新型コロナウイルス遺伝子を全自動で簡便・迅速に検出する研究用試薬「ミュータスワコー COVID-19」を日本で発売しました。

医薬品事業では、2020年6月に、COVID-19治療薬として期待されている抗インフルエンザウイルス薬「アビガン錠」(一般名:ファビピラビル)の海外展開に向けて、インド大手製薬企業Dr. Reddy's Laboratories Ltd.、及び世界的な医療物資・医薬品提供会社Global Response Aidとの提携を行い、当提携によるライセンス収入などにより、売上は増加しました。COVID-19の世界的な感染拡大が継続する中、「アビガン錠」の迅速な開発・供給体制をグローバルに構築することで、一日も早く世界のCOVID-19患者に治療薬をお届けし、COVID-19の感染拡大の抑止や流行の終息に貢献していきます。また、2020年5月に、薬剤を患部に届けるドラッグ・デリバリー・システム(以下、DDS)技術を応用したリポソーム製剤の臨床開発を加速させるため、米国Merck&Co., Inc.(以下、米メルク社)との提携を発表しました。当社が開発中の進行性固形がんを対象としたリポソーム製剤「FF-10832」と、米メルク社の抗PD-1抗体「キイトルーダ®」の併用療法を評価する臨床試験を今年度中に米国で開始す

る計画です。当社グループは、アンメットメディカルニーズに応える新薬開発を進めるとともに、これまで培ってきた DDS 技術などを活用して医薬品を創出することで、医薬品産業のさらなる発展に貢献していきます。

バイオ CDMO 事業では、バイオ医薬品のプロセス開発受託及び製造受託が好調に推移し、売上が増加しました。2020 年 6 月に、バイオ医薬品のさらなる生産能力増強を目的に、デンマーク拠点に約 1,000 億円を投じて製造設備を大幅に増強することを発表しました。2022 年から 2023 年に順次稼働させ、デンマーク拠点におけるバイオ医薬品の原薬生産能力を倍増させるとともに、同拠点にて原薬から製剤・包装までワンサイト・ワンストップで製造受託ができる体制を構築します。また、米国拠点において、米国バイオテクノロジー企業 Novavax, Inc. (以下、ノババックス社) より、同社が開発している COVID-19 のワクチン候補の原薬製造を受託しました。さらに、米国政府が COVID-19 のワクチンの開発を目的として立上げた官民連携プロジェクト「Operation Warp Speed」(以下、OWS) の一環として、製造設備拡張などを用途とする約 270 億円の拠出を受け、ノババックス社を含む、OWS が支援する COVID-19 ワクチン候補の原薬製造を行っていく計画です。今後も、高品質な医薬品の安定供給を通じて顧客の新薬創出をサポートし、アンメットメディカルニーズへの対応など社会課題の解決、及びヘルスケア産業の発展に貢献していきます。

再生医療事業では、COVID-19 の流行拡大により創薬支援事業などが影響を受け、全体の売上は減少しました。米国 FUJIFILM Cellular Dynamics, Inc. が展開する、次世代がん免疫治療薬に使用する他家 iPS 細胞の開発受託事業は好調に推移しました。今後も、当社グループ各社の技術・ノウハウを活用し、再生医療の早期産業化に貢献していきます。

ライフサイエンス事業では、店舗販売は COVID-19 の流行拡大影響を受けましたが、通信販売でサプリメント「メタバリア EX」などが好調に推移し、全体の売上が増加しました。2020 年 4 月には、「紫外線刺激から肌を保護するのを助ける」機能を持つ、機能性表示食品「アスタリフト サプリメント ホワイトシールド」と「アスタリフト ドリンク ホワイトシールド」を発売しました。今後もお客様のニーズを捉えた独自性の高い製品を提供し、人々の美容と健康に貢献していきます。

ディスプレイ材料事業では、在宅勤務・在宅学習向けに需要が高まっているタブレット用ドライフィルムが好調を維持したものの、TAC 製品や波長板は減販基調となり、全体の売上は微減となりました。

産業機材事業では、COVID-19 の流行拡大影響を受けて非破壊検査用機器などが販売減となりましたが、在宅勤務・在宅学習向け需要が増加したことにより、タッチパネル用センサーフィルム「エクスクリア」の販売が好調で、全体の売上は増加しました。

電子材料事業では、COVID-19 の流行下での在宅勤務・在宅学習向けにタブレットなどの需要が高まったことから、ロジック向けを中心に CMP スラリー等の販売が好調に推移しました。

ファインケミカル事業では、COVID-19 の流行拡大影響により大学や企業の研究活動が停滞し、試薬の需要減などの影響を受けましたが、COVID-19 用遺伝子検出キットや、消毒用エタノールなどの販売が堅調に推移し、売上は増加しました。

記録メディア事業では、COVID-19 の流行拡大影響による企業活動の停滞に加え、テレワークなどに対応する通信インフラの能力増強が優先され、データアーカイブへの投資が延期されたことなどを背景に、テープ需要が減少したことにより売上は減少しました。中長期的なデータ量の増加傾向及びテープの優位性に変化はなく、今後はデータアーカイブへの投資が回復に向かうと見込んでいます。

グラフィックシステム事業では、刷版材料分野において、COVID-19 の流行拡大影響による需要の減少を受けて売上が減少しました。今後、無処理 CTP プレートを中心とした環境対応品の拡販を推進します。デジタル印刷分野では、商業印刷向けインクジェットデジタルプレス「Jet Press 750S」を中心に、デジタル化が進む商業印刷及びパッケージ印刷市場に対して、引き続き画期的な製品を開発・提供し、事業成長を図っていきます。

インクジェット事業では、産業用インクジェットヘッドの販売は中国での顧客の稼働が再開し復調傾向にありますが、インクの販売は中国・欧州でのワイドフォーマット市場の需要落込みが激しく、全体の売上が減少しました。用途が拡大する産業用インクジェット市場に対して今後も画期的な製品を開発・提供し、さまざまな産業の発展に貢献していきます。

「ドキュメント ソリューション部門」

ドキュメントソリューション部門の連結売上高は、COVID-19 流行拡大の影響を受けたこと、アジア通貨安が進んだことによる為替のマイナス影響などにより、1,894 億円（前年同期比 18.7%減）となりました。

当部門の営業利益は、129 億円（前年同期比 40.8%減）となりました。

オフィスプロダクト&プリンター事業のオフィスプロダクト分野では、欧米向け輸出の減少、COVID-19 流行拡大によるオフィスの閉鎖などの影響を受けて全体の販売台数は前年を下回りましたが、国内では大型商談もあって販売台数が前年を上回りました。また、国内では感染対策としてテレワークが広がったことで、全国のセブン-イレブン店頭で設置された複合機を利用した「ネットプリント*サービス」の需要が拡大しました。オフィスプリンター分野は、全地域で販売台数が減少しました。

プロダクションサービス事業では、COVID-19 流行拡大による先行不透明感からお客様が投資を抑制したことで、販売台数は前年から減少しました。

ソリューション&サービス事業では、COVID-19 流行拡大影響を受けて、オフィスの閉鎖やテレワークの増加によって営業活動が制限されたことで、全体の売上が減少しました。一方で、テレワークが拡大したことにより、強固なセキュリティと簡単・便利なネットワーク環境を実現するサービス「beat」や、オフィスに届くファクス文書を自宅で確認が出来るペーパーレスファクスソリューションなどの販売が増えました。今後も新しいソリューション&サービスメニューを順次提供し、お客様の多様化する働き方を支援していくとともに、当領域でのさらなる成長を目指します。

(2) 財政状態に関する説明

2021年3月期第1四半期末は、営業債権の減少などにより、前期末（2020年3月31日）に比べ、資産合計が395億円減の3兆2,822億円となりました。負債は763億円減の1兆2,516億円となりました。株主資本は346億円増の1兆9,879億円となりました。この結果、流動比率は前期末に比べ18.5ポイント増の244.1%、負債比率は5.0ポイント減の63.0%、株主資本比率は1.8ポイント増の60.6%となり、資産の流動性及び資本構成の安定性をともに維持しております。

【キャッシュ・フローの状況】

(単位：億円)

	2021年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,004	1,084	△80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△335	△291	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	△796	△212	△584

2021年3月期第1四半期における営業活動によるキャッシュ・フローは、受取債権の減少などにより、1,004億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の購入などにより、335億円の支出となりました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、669億円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済などにより、796億円の支出となりました。

現金及び現金同等物の2021年3月期第1四半期末残高は、前期末(2020年3月31日)に比べ98億円減少し、3,863億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明
(2021年3月期の連結業績予想)

(単位：億円)

	2021年3月期 (業績予想)	2020年3月期 (実績)	増減率 (%)
売上高	22,000	23,151	△5.0%
営業利益	1,400	1,866	△25.0%
税金等調整前 当期純利益	1,700	1,731	△1.8%
当社株主帰属 当期純利益	1,200	1,250	△4.0%
為替レート (円/米\$)	108 円	109 円	△1 円
為替レート (円/Euro)	118 円	121 円	△3 円

2021年3月期業績は、経済活動の再開と共に業績は徐々に回復することを見込んでいますが、COVID-19流行拡大の影響を引き続き受けることが予想されることから、連結売上高は2兆2,000億円(前期比5.0%減)、営業利益は1,400億円(前期比25.0%減)、税金等調整前当期純利益は1,700億円(前期比1.8%減)、当社株主帰属当期純利益は1,200億円(前期比4.0%減)を予想しております。

なお、ドキュメント事業などにおいて、ブランド変更などに関連する一時費用として250億円を見込んでおります。

通期での対米ドル円為替レートを108円、対ユーロ円為替レートを118円で想定しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

富士フイルムホールディングス(株)(4901)2021年3月期第1四半期決算短信

(1) 四半期連結貸借対照表

単位 百万円

科目	期別	2021年3月期第1四半期 連結会計期間末 2020年6月30日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 2020年3月31日現在	増減 (△は減少)
[資産の部]				
流動資産				
現金及び現金同等物		386,264	396,091	△ 9,827
受取債権				
営業債権		430,156	524,120	△ 93,964
リース債権		55,868	55,419	449
関連会社等に対する債権		1,739	2,640	△ 901
貸倒引当金		△ 24,867	△ 23,761	△ 1,106
		462,896	558,418	△ 95,522
棚卸資産		426,341	380,911	45,430
前払費用及びその他の流動資産		166,025	153,783	12,242
流動資産 合計		1,441,526	1,489,203	△ 47,677
投資及び長期債権				
関連会社等に対する投資及び貸付金		25,998	27,770	△ 1,772
投資有価証券		101,166	87,209	13,957
長期リース債権		60,893	61,724	△ 831
その他の長期債権		30,033	30,497	△ 464
貸倒引当金		△ 4,016	△ 4,067	51
投資及び長期債権 合計		214,074	203,133	10,941
有形固定資産				
土地		98,069	96,776	1,293
建物及び構築物		737,963	732,716	5,247
機械装置及びその他の有形固定資産		1,491,998	1,478,270	13,728
建設仮勘定		41,681	47,481	△ 5,800
		2,369,711	2,355,243	14,468
減価償却累計額		△ 1,770,772	△ 1,754,696	△ 16,076
有形固定資産 合計		598,939	600,547	△ 1,608
その他の資産				
オペレーティング・リース使用权資産		82,993	75,261	7,732
営業権		686,862	687,155	△ 293
その他の無形固定資産		143,735	142,071	1,664
その他		114,036	124,322	△ 10,286
その他の資産 合計		1,027,626	1,028,809	△ 1,183
資産 合計		3,282,165	3,321,692	△ 39,527

科目	期別	2021年3月期第1四半期 連結会計期間末 2020年6月30日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 2020年3月31日現在	増減 (△は減少)
[負債の部]				
流動負債				
社債及び短期借入金		69,944	120,998	△ 51,054
支払債務				
営業債務		179,384	195,214	△ 15,830
設備関係債務		17,551	25,360	△ 7,809
関連会社等に対する債務		1,325	1,724	△ 399
		198,260	222,298	△ 24,038
未払法人税等		26,677	24,893	1,784
未払費用		181,562	171,989	9,573
短期オペレーティング・リース負債		27,284	25,696	1,588
その他の流動負債		86,854	94,133	△ 7,279
流動負債 合計		590,581	660,007	△ 69,426
固定負債				
社債及び長期借入金		492,318	503,171	△ 10,853
退職給付引当金		32,042	33,818	△ 1,776
長期オペレーティング・リース負債		58,070	52,652	5,418
その他の固定負債		78,579	78,287	292
固定負債 合計		661,009	667,928	△ 6,919
負債 合計		1,251,590	1,327,935	△ 76,345
[純資産の部]				
株主資本				
資本金		40,363	40,363	-
普通株式				
発行可能株式総数 800,000,000株				
発行済株式総数 514,625,728株				
資本剰余金		130	-	130
利益剰余金		2,588,561	2,563,091	25,470
その他の包括利益(△損失)累積額		△ 155,168	△ 164,100	8,932
自己株式		△ 486,026	△ 486,102	76
株主資本 合計		1,987,860	1,953,252	34,608
非支配持分		42,715	40,505	2,210
純資産 合計		2,030,575	1,993,757	36,818
負債・純資産 合計		3,282,165	3,321,692	△ 39,527

(注)その他の包括利益(△損失)累積額 内訳

	2020年6月30日現在	2020年3月31日現在	増減 (△は減少)
有価証券未実現損益	△ 14	△ 11	△ 3
為替換算調整額	△ 38,774	△ 46,201	7,427
年金負債調整額	△ 116,448	△ 117,780	1,332
デリバティブ未実現損益	68	△ 108	176

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

【第1四半期連結累計期間】

単位:百万円

科目	期別		2021年3月期第1四半期		2020年3月期第1四半期		増減 (△は減少)	
			自 2020年 4月 1日 至 2020年 6月 30日		自 2019年 4月 1日 至 2019年 6月 30日		増減額	増減率
		%		%				%
売上高	100.0	456,270	100.0	535,326	△ 79,056	△ 14.8		
売上原価	58.9	268,838	57.3	306,908	△ 38,070	△ 12.4		
売上総利益	41.1	187,432	42.7	228,418	△ 40,986	△ 17.9		
営業費用								
販売費及び一般管理費	28.6	130,643	28.5	152,338	△ 21,695	△ 14.2		
研究開発費	8.0	36,399	7.3	38,967	△ 2,568	△ 6.6		
営業利益	36.6	167,042	35.8	191,305	△ 24,263	△ 12.7		
	4.5	20,390	6.9	37,113	△ 16,723	△ 45.1		
営業外収益及び費用(△)								
受取利息及び配当金		1,396		1,664	△ 268			
支払利息		△ 582		△ 725	143			
為替差損益・純額		△ 1,599		△ 2,922	1,323			
持分証券に関する損益・純額		13,545		△ 9,283	22,828			
その他損益・純額		9,049		545	8,504			
税金等調整前四半期純利益	4.7	21,809	△ 2.0	△ 10,721	32,530	-		
	9.2	42,199	4.9	26,392	15,807	59.9		
法人税等	2.8	12,919	1.3	7,034	5,885	83.7		
持分法による投資損益	△ 0.3	△ 1,607	△ 0.1	△ 530	△ 1,077	203.2		
四半期純利益	6.1	27,673	3.5	18,828	8,845	47.0		
控除:非支配持分帰属損益	△ 0.1	△ 172	△ 0.8	△ 4,166	3,994	△ 95.9		
当社株主帰属四半期純利益	6.0	27,501	2.7	14,662	12,839	87.6		

(四半期連結包括利益計算書)

単位 百万円

科目	期別	2021年3月期第1四半期	2020年3月期第1四半期	増減
		自 2020年 4月 1日 至 2020年 6月30日	自 2019年 4月 1日 至 2019年 6月30日	(△は減少)
四半期純利益		27,673	18,828	8,845
その他の包括利益(△損失) ー税効果調整後				
有価証券未実現損益変動額		△ 3	△ 13	10
為替換算調整額		7,321	△ 34,193	41,514
年金負債調整額		1,323	1,215	108
デリバティブ未実現損益変動額		176	93	83
合計		8,817	△ 32,898	41,715
四半期包括利益(△損失)		36,490	△ 14,070	50,560
控除: 非支配持分帰属四半期包括損益		△ 57	△ 920	863
当社株主帰属四半期包括利益(△損失)		36,433	△ 14,990	51,423

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位 百万円

科目	期別	2021年3月期第1四半期	2020年3月期第1四半期	増減
		自 2020年 4月 1日 至 2020年 6月 30日	自 2019年 4月 1日 至 2019年 6月 30日	(△は減少)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 四半期純利益		27,673	18,828	8,845
2. 営業活動により増加した純キャッシュへの調整				
(1) 減価償却費		29,945	30,026	△ 81
(2) 持分証券に関する損益		△ 13,545	9,283	△ 22,828
(3) 持分法による投資損益(受取配当金控除後)		1,788	1,450	338
(4) 資産及び負債の増減				
受取債権の減少		97,948	85,930	12,018
棚卸資産の増加		△ 45,529	△ 30,375	△ 15,154
営業債務の減少		△ 16,553	△ 8,886	△ 7,667
未払法人税等及びその他負債の増加		12,353	14,385	△ 2,032
(5) その他		6,350	△ 12,226	18,576
小計		72,757	89,587	△ 16,830
営業活動によるキャッシュ・フロー		100,430	108,415	△ 7,985
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 有形固定資産の購入		△ 23,044	△ 18,477	△ 4,567
2. ソフトウェアの購入		△ 3,809	△ 3,840	31
3. 投資有価証券の売却・満期償還		3	6	△ 3
4. 投資有価証券の購入		△ 397	△ 965	568
5. 定期預金の増加(純額)		△ 2,430	△ 2,279	△ 151
6. 関連会社投融资及びその他貸付金の増加		-	△ 1,001	1,001
7. その他		△ 3,847	△ 2,511	△ 1,336
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 33,524	△ 29,067	△ 4,457
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 長期債務による調達額		1,066	-	1,066
2. 長期債務の返済額		△ 13,540	△ 783	△ 12,757
3. 満期日が3ヵ月以内の短期債務の減少(純額)		△ 1,259	△ 239	△ 1,020
4. 満期日が3ヵ月超の短期債務の返済額		△ 50,000	-	△ 50,000
5. 親会社による配当金支払額		△ 18,986	△ 16,371	△ 2,615
6. 非支配持分への配当金支払額		△ 17	△ 3,513	3,496
7. 自己株式の取得		△ 2	△ 3	1
8. その他		3,159	△ 319	3,478
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 79,579	△ 21,228	△ 58,351
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響		2,846	△ 10,439	13,285
V. 現金及び現金同等物純増加・純減少(△)		△ 9,827	47,681	△ 57,508
VI. 現金及び現金同等物期首残高		396,091	654,747	△ 258,656
VII. 現金及び現金同等物四半期末残高		386,264	702,428	△ 316,164

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

①事業別セグメント情報

【売上高】

単位 百万円

科目	期別	2021年3月期第1四半期		2020年3月期第1四半期		増減 (△は減少)	
		自 2020年 4月 1日 至 2020年 6月 30日		自 2019年 4月 1日 至 2019年 6月 30日		増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
イメージングソリューション :							
外部顧客に対するもの		10.9	49,839	13.9	74,636	△ 24,797	△ 33.2
セグメント間取引			498		590	△ 92	-
計			50,337		75,226	△ 24,889	△ 33.1
ヘルスケア&マテリアルズソリューション :							
外部顧客に対するもの		47.6	217,057	42.5	227,626	△ 10,569	△ 4.6
セグメント間取引			309		434	△ 125	-
計			217,366		228,060	△ 10,694	△ 4.7
ドキュメントソリューション :							
外部顧客に対するもの		41.5	189,374	43.6	233,064	△ 43,690	△ 18.7
セグメント間取引			975		2,364	△ 1,389	-
計			190,349		235,428	△ 45,079	△ 19.1
セグメント間取引消去			△ 1,782		△ 3,388	1,606	-
連結 合計		100.0	456,270	100.0	535,326	△ 79,056	△ 14.8

【営業利益】

単位 百万円

科目	期別	2021年3月期第1四半期		2020年3月期第1四半期		増減 (△は減少)	
		自 2020年 4月 1日 至 2020年 6月 30日		自 2019年 4月 1日 至 2019年 6月 30日		増減額	増減率
営業利益(△損失) :		%		%			%
イメージングソリューション		△ 5.9	△ 2,972	6.0	4,495	△ 7,467	-
ヘルスケア&マテリアルズソリューション		8.3	17,975	8.3	18,857	△ 882	△ 4.7
ドキュメントソリューション		6.8	12,867	9.2	21,717	△ 8,850	△ 40.8
計			27,870		45,069	△ 17,199	△ 38.2
全社費用及びセグメント間取引消去			△ 7,480		△ 7,956	476	-
連結 合計		4.5	20,390	6.9	37,113	△ 16,723	△ 45.1

(注) 各区分に属する主要な製品の名称

- イメージングソリューション : カラーフィルム、デジタルカメラ、写真プリント用カラーペーパー・サービス・機器、インスタントフォトシステム、光学デバイス等
- ヘルスケア&マテリアルズソリューション : メディカルシステム機材、化粧品・サプリメント、医薬品、バイオ医薬品製造開発受託、再生医療製品、化成品、グラフィックシステム機材、インクジェット機材、ディスプレイ材料、記録メディア、電子材料等
- ドキュメントソリューション : デジタル複合機、パブリッシングシステム、ドキュメントマネジメントソフトウェア及び関連ソリューション・サービス等

②所在地別セグメント情報

【売上高】

単位 百万円

科目	期別	2021年3月期第1四半期		2020年3月期第1四半期		増減 (△は減少)	
		自 2020年 4月 1日 至 2020年 6月 30日		自 2019年 4月 1日 至 2019年 6月 30日		増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
日本 :							
外部顧客に対するもの		49.8	227,428	48.3	258,667	△ 31,239	△ 12.1
セグメント間取引			102,984		117,138	△ 14,154	-
計			330,412		375,805	△ 45,393	△ 12.1
米州 :							
外部顧客に対するもの		16.6	75,550	18.2	97,247	△ 21,697	△ 22.3
セグメント間取引			13,862		13,633	229	-
計			89,412		110,880	△ 21,468	△ 19.4
欧州 :							
外部顧客に対するもの		10.6	48,306	10.1	53,897	△ 5,591	△ 10.4
セグメント間取引			2,549		4,560	△ 2,011	-
計			50,855		58,457	△ 7,602	△ 13.0
アジア及びその他 :							
外部顧客に対するもの		23.0	104,986	23.4	125,515	△ 20,529	△ 16.4
セグメント間取引			62,083		61,734	349	-
計			167,069		187,249	△ 20,180	△ 10.8
セグメント間取引消去			△ 181,478		△ 197,065	15,587	-
連結 合計		100.0	456,270	100.0	535,326	△ 79,056	△ 14.8

【営業利益】

単位 百万円

科目	期別	2021年3月期第1四半期		2020年3月期第1四半期		増減 (△は減少)	
		自 2020年 4月 1日 至 2020年 6月 30日		自 2019年 4月 1日 至 2019年 6月 30日		増減額	増減率
営業利益 :		%		%			%
日本		3.5	11,620	4.9	18,231	△ 6,611	△ 36.3
米州		1.3	1,159	3.1	3,467	△ 2,308	△ 66.6
欧州		0.9	469	1.9	1,126	△ 657	△ 58.3
アジア及びその他		5.6	9,421	9.2	17,190	△ 7,769	△ 45.2
セグメント間取引消去			△ 2,279		△ 2,901	622	-
連結 合計		4.5	20,390	6.9	37,113	△ 16,723	△ 45.1

【海外売上高(仕向地ベース)】

単位 百万円

科目	期別	2021年3月期第1四半期		2020年3月期第1四半期		増減 (△は減少)	
		自 2020年 4月 1日 至 2020年 6月30日		自 2019年 4月 1日 至 2019年 6月30日		増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
国内		44.5	202,867	41.4	221,397	△ 18,530	△ 8.4
海外 :							
米州		17.2	78,441	18.5	99,245	△ 20,804	△ 21.0
欧州		10.8	49,612	12.8	68,789	△ 19,177	△ 27.9
アジア及びその他		27.5	125,350	27.3	145,895	△ 20,545	△ 14.1
計		55.5	253,403	58.6	313,929	△ 60,526	△ 19.3
連結 合計		100.0	456,270	100.0	535,326	△ 79,056	△ 14.8

(注)【海外売上高(仕向地ベース)】は、取引先の所在地により区分し、表示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。